

2024

みんなで作る美術館 2024年度記録集

み	な	び
み	な	で
つ	く	る
び	じ	ゅ
つ	か	ん

# やまなしをつくろう Vol.2

あなたの手で みんなの手で

山梨の手仕事集結



種をまく 世界がひらく

## 山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art





## ごあいさつ

「みんなで作る美術館(みなび)」とは、大人も子どもも、障がいのある人もない人も、アーティストも、一般の人も、誰もが自由に参加して、楽しみながらつくり上げる事業です。23回目となる今年度は、展覧会前の7回、会期中2回のワークショップと、ワークショップで制作した作品を集めた展覧会・みなび展を開催しました。

今年度は、昨年度3カ年のテーマとして設定した「やまなしをつくろう」の2年目にあたり、山梨の伝統的な手仕事や地域に根ざした素材を使った作品制作を目指しました。富士吉田の生地による花づくり、自分で育てた藍の葉を使った藍染め、身延町西嶋の和紙制作、南アルプス市の糊置きによる染め物、同じく南アルプスの土を用いた縄文野焼きの土鈴、雨畑硯を使った墨すり、大工の技による建て方やみこしづくり体験、そして、自分の手そのものを存分に活かした絵と造形。山梨のさまざまな地域に受け継がれている物や技をベースに、参加者の発想や表現が発揮された多彩なワークショップとなりました。

みなび展の会場には、大人から子どもまで幅広い世代の参加者が制作した作品が集まり、展覧会は、ワークショップ参加者にとっても観覧に訪れた人にとっても、自分たちが暮らす山梨という土地に改めて思いを馳せる機会になったのではないかと思います。本報告書は、展覧会の様子を含めた今年度の記録となります。

来年度は「やまなしをつくろう」の3年目・最終年となります。山梨をどんな風にかたちづくっていくのか、それによって何が見えてくるのか。来年度の「みなび」の展開にご期待ください。

みんなで作る美術館実行委員会  
委員長 青柳 正規(山梨県立美術館 館長)



MINABI work shop

# 山梨の生地をつかって お花をつくろう!

講師/藤枝大裕氏・佐久間彩芽氏[両氏ともイベントプランナー]

実施日/7月28日(日) 午前9:30~12:00 午後2:00~4:30 (随時参加可能)

場所/山梨県立美術館ワークショップ室

参加者/午前39名 午後22名

ボランティア/午前5名 午後5名



子どもと同じくらい大人も夢中になって創作に取り組む方が多かったのが印象的でした。普段処分品としてしか見られていないものがここでは魅力的な材料になり、概念にとらわれず自由な発想で不思議なお花に生まれ変わる姿が目焼き付いています。山梨の生地をつかって作った「や」「ま」「な」「し」から始まる言葉の不思議なお花の群生はまさしく、「織物工場から出る廃材を生かした工作アイデア帖」でした。(藤枝大裕)





MINABI work shop

# 藍の生葉の たたき染めを楽しもう

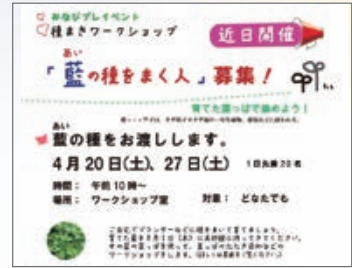
講師/美術館職員

実施日/8月1日(木) 午前9:30~11:30

場所/山梨県立美術館ミュージアムコート

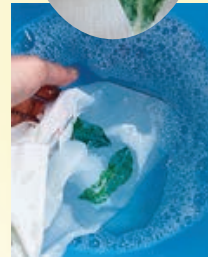
参加者/80名

ボランティア/7名



4月下旬に藍の種を配布し、ご自宅で育てた藍の葉っぱを使ってのワークショップ。葉っぱを布の上に並べ、木槌でトントンたたきます。葉っぱのジュースで葉っぱの形が布にくっきりできるまでトントン、トントン。それを水の中で洗うと優しい色にだんだん変わり「わぁ〜」と参加者の顔が明るくなりました。緑から薄いブルーに変化、自然の力、藍の葉っぱの魅力に感動した暑い夏の日となりました。藍(Love)をたくさん育ててくださった皆さん、ありがとうございました。(美術館職員)

藍の苗提供: 古民家宮久保





MINABI work shop

## 山梨の土でつくった土鈴を 縄文野焼きしよう!!

講師/村岡魯檀氏・村岡由梨氏・村岡由季子氏[三氏とも作家]

実施日/粘土で制作 8月8日(木) 午後1:30~4:00

縄文野焼き 11月24日(日) 午後9:00~11:30

場所/南アルプス市ふるさと文化伝承館

参加者/15名 ボランティア/7名



南アルプス伝承館からこの地で採掘された粘土をいただき、夏に子供も大人も自由な感覚で、様々な形や大きさの土鈴を作りました。その後乾燥を経て11月終わりに南アルプス伝承館のご協力のもと縄文時代に行われていた様な方法で野焼きをしました。参加者の皆さんと共に火を囲み縄文時代から続く悠久な時に想いを馳せる時間となりました。焼成も上手いき、土鈴を振ると音が聞こえてきます。皆さまとこの様な時間を持たた事に感謝しております。本当にありがとうございました。(村岡魯檀・由梨・由季子)

協力:南アルプス市ふるさと文化伝承館



MINABI work shop

## みんなで大きな和紙をつくろう

講師／笠井雅樹氏[和紙漉き職人]・笠井 英氏[作家]  
実施日／9月14日(土) 午前10:00～午後3:00  
場所／富士川クラフトパーク内 西島和紙工房(身延町)  
参加者／18名  
ボランティア／6名



桑の木の皮を和紙の原料にする事と、約2m×3mの大きさの紙を漉く事は、私にとっても初めての体験でした。準備は大変でしたが、当日、一人一人の一握りの桑の皮がだんだんと大きな紙になっていく時間は、とても楽しい時間でした。

頭や体を動かして湧き上がるアイデアが形になる過程が、ものづくりの楽しみなのだと思います。この機会を下さった美術館のスタッフの皆様、参加して頂いた皆様にあらためて感謝致します。

(笠井雅樹・笠井 英)

協力：富士川クラフトパーク、西島和紙工房  
桑の枝提供：芦澤洋平



MINABI work shop

# てとてとてとてとてとてとてと

講師/齊藤 翔 氏[作家]

実施日/10月9日(水) 午前10:00~11:30 午後1:30~3:00

場所/山梨県立美術館ワークショップ室

参加者/午前29名 午後35名

別日に実施/あけぼの支援学校の皆さん9名

ボランティア/7名



ワークショップ

絵を描くための画筆を用いずに、直接的に「手」のみを使って全長 15m の大きな画面に表現をしました。ただ手を使うといっても「どこに表現しよう」と頭で考えたり、足を使って移動したり、と全身を使った表現が集まりました。参加者の生き活きと楽しそうに表現している姿を見て、「表現の原初の姿」を感じることができました。粘土を用いた全員の「手のかたち」も世界に1つしかない自分にしかできないかたちを残すことができました。(齊藤 翔)



MINABI work shop

## お絵かき水族館

講師／井上展弘氏[染色職人]  
実施日／11月3日(日・祝) 午後1:30～3:30  
場所／山梨県立美術館ワークショップ室  
参加者／32名  
ボランティア／5名



9 mの大きな木綿生地に餅粉、米ぬか、塩等で作った糊を使い、思い思いの水族館の生物を描きました。普段の「描く」とは違い、使い慣れない糊、筒に苦労しながらもみなさん、様々な発想の元、楽しくダイナミックに作業されていたのが印象的でした。

工房に持ち帰り、海の底をイメージしたグラデーションで染め上げました。糊を水で落とし、白い輪郭が顔を出すとそこはもう海の中です。これこそ世界に一つだけのみなび水族館！素敵なお作品になりました。

今回のワークショップに携わって下さった方々に感謝します。とても楽しかったです。ありがとうございました。(井上展弘)

協力：井上染物店



MINABI work shop

# すみすりのじかん

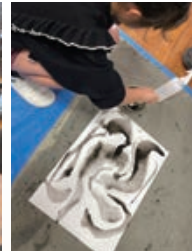
講師／雨宮弥太郎 氏[作家]

実施日／11月17日(日) 午前10:00～11:30 午後1:30～3:00

場所／山梨県立美術館ワークショップ室

参加者／午前19名 午後19名

ボランティア／午前6名 午後6名

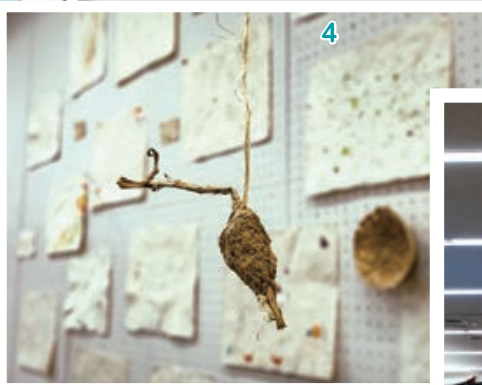
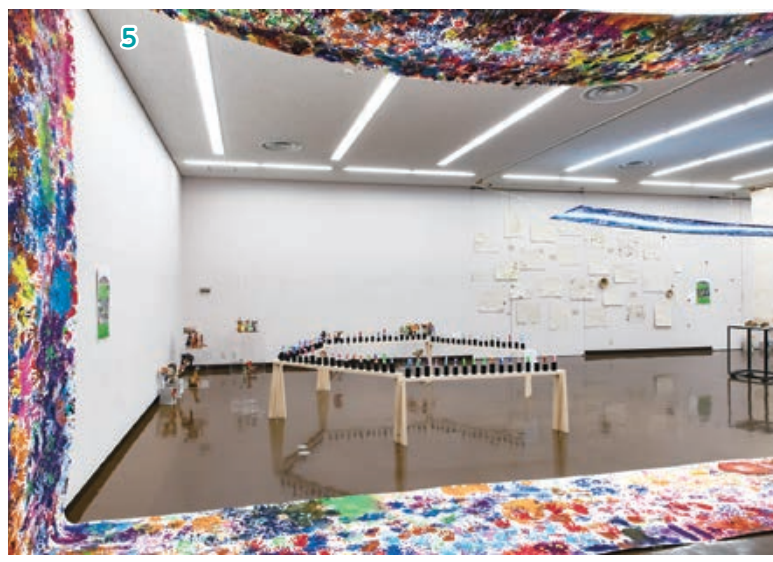
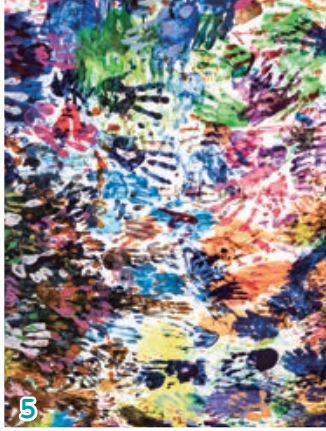


墨を磨る時間は気持ちの落ち着く豊かな時間です。生まれた墨液は墨汁では出すことのできない多彩な表情を持っています。今回は生きた墨で思い切り遊んでもらう事が目的でした。墨の面白さを発見してもらいたい。何よりも皆さんの 伸び伸びとした夢中になっている姿に感動させられました。そこにこそ創造の原点があるはずです。硯は創造的な心を生み出す道具です。文化としての硯の風景をこれからも広めていきたいと思っています。(雨宮弥太郎)

# みなび展会場風景



会期／2025年1月22日(水)～2月2日(日)  
会場／山梨県立美術館 県民ギャラリーC、他  
観覧者数／3,260人



みなび展

※番号は各ワークショップの番号に対応しています。



MINABI work shop

# みなび展 会期中の 大工さんによるワークショップ

講師／南アルプス市若手大工の会  
実施日／2025年1月25日(土)

参加者／午前13名 午後13名  
ボランティア／午前6名 午後6名

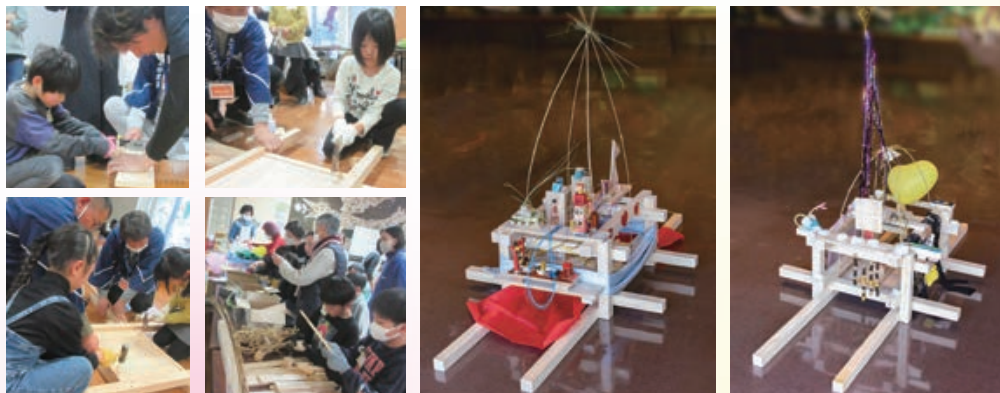
## ①建て方体験 午前 10:00 ~ 11:30

県産材を使ったミニハウスを皆で建て、上棟式で餅まき体験をしました。



## ②子どもみこしづくり 午後 1:30 ~ 4:30

参加者でチームをつくり、材木を加工してみこしをつくり、いろいろな素材を使ってご神体もつくりました。最後は皆で担いで練り歩きました。



第一部は家の柱や梁を組み立てる建て方体験と昔ながらの上棟式で行う餅投げ体験。

県産材スギの柱と梁の接合部を確かめ番付けされたとおり力を合わせ組み立てました。組立後は昔ながらの餅投げ体験。災いを払うために行う餅投げは楽しく盛大に行いました。

第二部はみこしをつくり担いで美術館内を練り歩く御神輿体験。

3チームに別れ45mm角の桧材から組み立て、中央部に祀られる神様はチーム毎に様々な飾付がされました。完成後は館内を「わっしょい」と声を上げ楽しく担いで練り歩きました。

(南アルプス市若手大工の会会長 小林孝一)



みなび展会場での

mini work shop

## 富士山をかこう！

みなび展会期中、会場内で随時制作可能とし、完成した絵は参加者が自分で展示場所に貼りつけました。  
参加枚数／826枚



今年度のみなび展でも、当館所蔵のミレーやバルビゾン派の作品にちなんだ内容の特製「おみくじ」をお客様に楽しんでいただきました。

# アンケートから

ワークショップ参加者とみなび展を  
ご覧いただいた皆さまからたくさんの言葉をいただきました。  
その中からごく一部をご紹介します(原文のまま)。

## ①「山梨の生地をつかってお花をつくろう!」

- 自分では使わない素材や、山梨ならではの素材(いろいろな素材がある事を知った)を利用して、つくる事ができ楽しかったです。(大人)
- 自由というのは難しかったけど、とても楽しかったです!! 思ったようにはできないところもあったけど、結果はすごくよかったですのでうれしかったです。(小学6年)

## ②「藍の生葉のたたき染めを楽しもう」

- 「あい」の葉を育てるところから始まる過程が良かった。育てた葉自体に愛着も湧いて、作品により強い思い入れが添えられた。「トントン」するのも楽しかったです。たくさんの方にサポートして頂きありがとうございます。(大人)
- たたいたところがみどりいろになって、またそこがきゅうに青いろになったのがすごかったです。(小学2年)

## ③「山梨の土でつくった土鈴を縄文野焼きしよう!!」

- とても楽しかった。貴重な経験になった。焼いて、完成するのがとても楽しみにになった。(中学1年)
- ひさしぶりにねん土で作品をつくりたのしかったです。夢中でつくりました(笑)(大人)

## ④「みんなで大きな和紙をつくろう」

- まえに、かみすき体験をやったことがありました。今日は、くわのかわをむくところからできてとてもうれしいです。紙をつくるのは、こんなに大変ななだと思いました。(小学6年)
- 1からの紙すき体験とても有意義でした。自然の造形が星のように銀河のように見えたのも可能性を感じました。今後に活かせそうです。(大人)

## ⑤ てとてとてとてとてとてとてと

※アンケートはなし  
参加者からは「楽しかった!」というコメントをいただきました。

## ⑥「お絵かき水族館」

- 魚などをたくさんかけました。初めてやったので、丸や曲がるところがとてもむずかしかったです。右手がとてもつかれたけど、楽しかったです!(小学4年)
- 山梨の伝統工芸を体験することができ、とても良かったです、TVの中でしかみたことのないのりおきを、まさか自分で体験できるとは!! 出来上がりが楽しみです。どうもありがとうございます。(大人)

## ⑦「すみすりのじかん」

- 絵で何をかくか、やり方がたくさんあってなやんだけど、思いっきりかくことができました。学校ではすみをすらないので、することができて楽しかったです。ハンコをつくる時に、時間がかかって大変だった。つくり終わった時にきれいにできてうれしかったです。(小学5年)
- 墨すったことははるか昔にありましたが、香りやする音、すっている感触を楽しみながらということは何初めてとても楽しかったです。(大人)

## ⑧「大工さんのワークショップ」

- ①「建て方体験」
  - 子どものみんなでパーツをくみあわせておきいいえがかんせいしてよかったです。(小学1年)
- ②「子どもみこしづくり」
  - おまつりふうにできて、そしてみんなのはっそうぼつぐんな、みこしができてよかったです。(小学1年)

## みなび展

- どのさくひんも、それぞれちがって、じぶんがつくったさくひんももだちとくらべてみたりしてとてもすてきでした♡♡(小学1年)
- 自宅でのアイディアでは体験させてあげられないようなダイナミックなワークショップがたくさんあり、とても楽しそうで良いと思いました!(大人)
- それぞれの個性が出ていてとても良かったです。どれもステキな作品で、シールをどれにはろうかまよいました。(小学4年)
- どのワークショップも枠にはまらず、自由な感性を引き出して、山梨のアーティストさんたちの独創性にど肝をぬかれました。なにしろ子どもたちの作品の自由さ、自在さ、展示の仕方も圧巻で大満足です。ワークショップに参加したかったけど都合が合わなかったのて来年度は参加してみたいです!(大人)

## あとがき

今年度のみなびでは「やまなしをつくろう」というテーマのもと、山梨の伝統的な手仕事を美術的視点で捉えたワークショップが行われました。山梨の生地を使ったお花作りや、藍のたたき染め、土鈴作りなど、地域の素材を使って表現することで、参加者は手仕事の持つ芸術性や、時間をかけて作り上げる楽しさを実感したのではないのでしょうか。創作活動を通じて、地域の伝統技術がアートとどう融合できるかを探り、ものづくりの持つ本来の価値を再認識する機会となったと思います。今後もこのような美術的なアプローチを通じて、地域をつくる活動がさらに広がることを期待しています。

みんなで作る美術館実行委員 長谷川 創(作家)

## 2024年 みなび実行委員/後援/協力

実行委員長	青柳 正規	(山梨県立美術館館長)
副実行委員長	市川 知都理	(南アルプス市立美術館職員)
実行委員	柏原 恵美	(作家・専門学校教諭)
実行委員	木村 理香	(山梨県立美術館協力員)
実行委員	齊藤 翔	(作家)
実行委員	村岡 由季子	(作家)
実行委員	長谷川 創	(作家)
監事	島津 久美子	(山梨県立美術館協力員)
監事	山口 博	(SPSやまなし支配人)
事務局長	井澤 英理子	(山梨県立美術館学芸幹)
事務局	太田 智子	(山梨県立美術館普及リーダー)
事務局	田所 良通	(山梨県立美術館普及担当)
事務局	内藤 雅士	(山梨県立美術館普及担当)
事務局	雨宮 千鶴	(山梨県立美術館普及担当)

主催: みんなで作る美術館実行委員会・山梨県立美術館

後援: 山梨県造形教育連合 山梨県社会福祉協議会 NHK甲府放送局 山梨日日新聞社・山梨放送 テレビ山梨 朝日新聞甲府総局  
テレビ朝日甲府支局 産経新聞甲府支局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局 山梨新報社 日本ネットワークサービス  
エフエム富士 エフエム甲府 エフエムハケ岳

協力: 装いの庭 南アルプス市ふるさと文化伝承館 富士川クラフトパーク 西島和紙工房 井上染物店 南アルプス市若手大工の会(小林建築所、ハウジングモチツキ、依田建築、中込ハウジング、野田ホーム) 河口湖美術館 南アルプス市立美術館  
みくに画材店 総合画材べきん堂 日本通運山梨営業部 ディスプレイ遠藤 島田プロセス 指定管理者: 芸術の森みらいデザイン

みんなで作る美術館 実行委員会

400-0065 甲府市貢川1-4-27 山梨県立美術館学芸課内  
TEL:055-228-3258 FAX:055-228-3418

みんなで作る美術館2024年度記録集

写真: みんなで作る美術館実行委員会事務局、青柳フォトスタジオ  
編集: みんなで作る美術館実行委員会事務局  
発行: みんなで作る美術館実行委員会 ©2024  
印刷: (株)シマトミ企画



みなび  
Instagram



みなび  
WEB サイト



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art